

石神中学校だより16号

発行日：令和2年 1月 9日

2019重点目標<目標を持ち、共に高め合い、夢の実現のためにやり抜く生徒> 文責：校長 佐藤恭司

「言葉の重みについて」

ねがい⑮



新年が始まり、神様や仏様などに自分の願い事や家内安全などお祈りするのが一般的でしょうか。我が家も例年通りお祈りをしてきました。さて、願い事の先には対人関係があり、そこには言葉のやりとりは必ずあるものです。新年のはじめに言葉の重みについて考えてみたいと思います。人のことは平気でズグズグ言うのに、自分のことを他人から言われると、とても気にする人がいます。言葉というものは、言う側と言われる側では、受け留め方はまるで違います。ある作家の文章に「自分をほめる言葉には敏感である。それは常に理があって、何度聞いても飽きない。ところが他人（たとえば友人）をほめる言葉には、違った意味で敏感で、それは一度聞けばたくさんである。繰り返されると嫌な気がする。反対に悪口は、他人に対するものには理があって、何度、聞いても飽きない。自分に対するものなら、そもそも聞きたくない」。言葉の受け取り方の感じをとてうまく言い表しています。自分では何気に言った言葉が、相手には深く残っていることはよくあります。言葉のやりとりほど人の身になって感ずることは難しいのです。安易に言ってしまうからでは遅すぎるが多々あり、人を傷つけてから謝っても遅いのです。だからこそ、他人への言葉には、細心の気配りが必要なのです。今年はより言葉の重みを考え、他人に対して思いやりのある言葉遣いをしていきたいと思う始まりでした。

3学期スタートしました!

新年を迎え、皆さんそれぞれに今年の目標や抱負を抱いたことと思います。今年も、すべての方々に支えられているという感謝の気持ちを忘れず、その思いを挨拶や立ち振る舞いによって、行動にあらわすことが必要です。三学期はまとめの大切な学期になります。その大切な三学期を乗り越えると新しい学年や進路先が待っています。皆さんには、いじめのない、健やかな学校生活が送れるよう期待します。一人一人の夢が叶う一年になりますようお祈りし、三学期始業式の挨拶といたします。(校長式辞より抜粋)



入試アドバイス① “面接” 「なぜ、面接はあるの」

県立・私立の高校や国立の高専など、面接を課す学校が増えています。中学校から各学校に提出される調査書等の情報だけでは計り知れない内容があるからだと思います。入学希望者に直接会って、その希望の度合いや入学後の意気込み、学校の教育方針や校風が合うのかを知りたいのです。面接で必ずと言って良いほど聞かれるのが「志望の動機」です。

□ この学校を受験したいと思ったのは、どんな理由からですか。

□ この学校に入学したいという動機は何ですか。

自分は「なぜこの学校を選んだのか。この学校の魅力は何なのか。この学校で学びたいことは何か。将来に向けてこの学校でやりたいことは何か」など、自分の言葉でしっかり、はっきりと言えるようにしておきたいものです。普段より相手の目を見て丁寧に話すことを心がけていることも重要です。

本校を支える先生方の紹介2

学習支援員 清水 純子 先生

◇ 本校に勤務して良かったところ・この仕事をしているの感動など

学習支援員として本校に勤務し、9ヶ月が経ちましたが、生徒たちの人生の一時期に関われる仕事である事を日々誇らしく思っています。学習支援員という特別な職業柄、授業を行う先生方とは違った目線で生徒たちと関わる機会が多く、関わる生徒たちの中には悩みや不安を抱えた生徒もいます。中学生は学年が上がる毎に学習量の多さ、授業進度の速さに戸惑い、それら学習面に伴い生活面での急激なストレスとなったりする中で、友達、先輩・後輩、先生・生徒との関係を築いていかなくてはなりません。思春期真っ只中の生徒たちの「人間関係の構築」というのは大きな課題となり、私自身それらの問題と正面から向き合う生徒の姿を見て学ぶことが沢山あります。人は他者との衝突、譲歩、妥協、和解により人間関係が構築され、堅固に築かれた社会性を身に付けていきます。今現在、悩み考え不安に思う日々が決して無駄な時間では無いと言うこと、悩みや不安も自らの経験となり生きる糧となっていきます。何より生徒たちの日々の成長や輝かしい笑顔が私のモチベーションとなっています。また、生徒たちとまっすぐに向き合う先生方の苦労や直向きな情熱は、社会人としてまだまだ未熟である私の大きな刺激となっています。



個別学習を担当する清水先生

南相馬市のインフルエンザの流行はこれからです。うがい・手洗い・睡眠・食事をしっかりと！

全校道徳 報徳仕法に関する特別授業開催

天明の飢饉や天保の飢饉から相馬地方を救った報徳仕法とはどのようなものだったのか。また、報徳の教えにある至誠、勤労、分度、推譲そして一元融合などについて、NPO法人南相馬サイエンスラボ理事長の齋藤 実さんを講師に特別授業が行われました。生徒会役員による報徳仕法に関わった人物の寸劇や齋藤実さんの詳しい解説はより報徳仕法を理解する上で勉強になったという生徒の声が聞かれました。水利事業の現在や報徳訓の教えについても説明して頂きました。（12月19日本校体育館）

寸劇をする生徒と解説をする齋藤さん



少年非行防止キャンペーン活動!

2学期終業式の朝、冬休み期間、事故や事件に巻き込まれないようにという願いを込めて、地域の見守隊や公民館、南相馬警察署署員の方々、本校生徒会、ボランティア委員会の生徒らがあいさつ運動など実施し、年末年始の防犯・非行防止にむけた啓発活動を行いました。



